

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
龍馬看護ふくし 専門学校	平成8年 3月19日	岡田 健	〒780-0056 高知県高知市北本町 1-5-3 (電話) 088-825-1800		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人 龍馬学園	平成元年 3月23日	佐竹 新市	〒780-0056 高知県高知市北本町 1-12-6 (電話) 088-825-0077		
目 的	看護学科では、授業や臨地実習により看護知識や専門技術を身に付け、科学的根拠に基づいた看護実践ができる看護師を養成する。 また、生命の尊厳を基盤に、専門職業人として自覚と誇りを持ち、保健医療福祉チームの中で看護の役割を果たし、社会に貢献できる看護師を養成する。				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数 又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
医療専門課程	看護学科	3年(昼)	3015 時間 99 単位	平成22年 文部科学大臣告示 第30号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	1980 時間 (76 単位)	講義時間のうち 236 時間	0 時間 (又は単位)	1035 時間 (23 単位)	講義時間のうち 24 時間
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180 人	188 人	15 人	70人	85 人	
学期制度	<b>■前期：</b> 4月1日～9月30日  <b>■後期：</b> 10月1日～3月31日		成績評価	<b>■成績表 (有・無)</b> <b>■成績評価の基準・方法について</b> 各担当教員が試験や提出物・出席状況等で総合的に評価する (評定はABCDの4段階)	
長期休み	<b>■学年始め：</b> 4月6日 <b>■夏 季：</b> 7月27日～8月16日 <b>■冬 季：</b> 12月24日～1月6日 <b>■学 年 末：</b> 3月23日～4月6日		卒業・進級条件	授業科目の全履修・単位取得 学費完納	
生徒指導	<b>■クラス担任制 (有・無)</b> <b>■長期欠席者への指導等の対応</b> 状況把握のため適宜連絡をとる		課外活動	<b>■課外活動の種類</b> 遠足 学園祭 <b>■サークル活動 (有・無)</b>	
主な就職先	<b>■主な就職先、業界</b> 病院 <b>■就職率</b> 100 %		主な資格・検定	看護師国家試験受験資格 保健師・助産師学校受験資格 専門士(医療専門課程) 大学3年次編入受験資格	

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 7名 ■中退率 3.72%</p> <p>平成 27年 4月 1日在学者 188名 (平成27年 4月入学者を含む)</p> <p>平成 28年 3月31日在学者 181名 (平成28年 3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>学力不足 意欲不足 進路変更 病気療養</p> <p>■中退防止のための取組</p> <p>学生の状況を把握し、変化をいち早く察知したうえできめ細かな対応をする 保護者・学生との面談を適宜行う</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: <a href="http://www.ryoma.ac.jp/cmw">www.ryoma.ac.jp/cmw</a></p>

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

看護学科では、学習した知識と看護技術を発揮し、あらゆる健康レベルにある対象に、的確で安全・安楽な看護を提供するために、各種医療機関の実習を通して最新医療知識・技術と円滑な人間関係を築く能力、さらに医療者としての倫理観・責任感を身につけた専門職業人を養成する

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 29 年 3 月 1 日現在

名 前	所 属
岡田 健	校長
徳弘 京子	副校長
栗田 三保	教務部長
岡部 由美	看護学科課長
中村 ささみ	元高知県看護協会 会長
山中 美智子	医療法人新松田会 愛宕病院 看護部長

(開催日時)

第 1 回 平成 27 年 9 月 17 日 16 : 00~17 : 00

第 2 回 平成 28 年 2 月 25 日 17 : 00~18 : 00

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

学校で学んだ知識と技術を統合し、日々進歩し変化する医療現場で、多様な対象に対して適切な看護を実践するための能力を養うために、最先端の医療を体験しながら、科学的かつ柔軟な発想を身につけさせる

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
基礎看護学実習 (環境と対象の理解)	病院における環境と患者について理解し、看護の役割を考えることができる	高知大学医学部附属病院 高知赤十字病院 近森リハビリテーション病院
基礎看護学実習 (看護過程の基礎)	看護過程の基本を学び、基礎的な看護技術が実践できる	高知赤十字病院 近森オルソリハビリテーション病院
成人看護学実習 (急性期・回復期)	成人期の急性期・回復期にある患者の特徴と治療・療養上の問題を総合的にとらえ、適切な看護を提供できる知識・技術・態度を習得する	高知赤十字病院
成人看護学実習 (慢性期・終末期)	成人期の慢性期・終末期にある患者の特徴と治療・療養上の問題を総合的にとらえ、適切な看護を提供できる知識・技術・態度を習得する	高知赤十字病院
老年看護学実習 (基礎)	老年期にある対象の特徴と健康上の問題を総合的に捉え、対象にとって必要かつ適切な看護を提供できる知識・技術・態度を学ぶ	愛宕病院 近森リハビリテーション病院
老年看護学実習 (総合)	老年期にある対象の特徴を総合的に捉え、適切な看護を継続して提供できる知識・技術・態度を習得する	近森リハビリテーション病院

小児看護学実習	小児の特徴を理解し、各健康レベルにある小児とその家族に看護が実践できる	高知赤十字病院 土佐希望の家 保育園 4 施設
母性看護学実習	妊婦・産婦・褥婦・新生児における母子とその家族を理解し、ウェルネスに向けた看護を実践する基礎的能力を習得する	高知赤十字病院
精神看護学実習	精神障害を持つ対象の特徴と健康上の問題を総合的に捉え、対象にとって必要かつ適切な看護を提供できる知識・技術・態度を習得する	海辺の杜ホスピタル 高知鏡川病院
在宅看護論実習	地域で生活している対象とその家族を理解し、在宅看護に必要な知識・技術・態度を習得する	訪問看護ステーションあたご ケアマネジャーステーションあたご 介護老人保健施設夢の里 高知赤十字病院外来 他7施設
統合実習	専門職業人としての責任と役割を理解し、臨床実践に即した看護が実践できる	高知赤十字病院

### 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教職員に対し、現在もしくは将来就く職務の遂行に必要な知識・技術を習得させ、能力及び資質等の向上を図ることを目的とした研修をさせる

### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 29 年 3 月 1 日現在

名 前	所 属
山中 美智子	医療法人新松田会 愛宕病院 看護部長
児玉 富貴子	学校法人やまもも学園 芸術学園 園長
明神 聡	高知厚生病院 事務部 係長
弘嶋 謙二	特定非営利活動法人 児童・障がい児(者)相談支援ネットワーク高知 理事
西森 康夫	にしもり薬局 代表
美崎 有紀	幼保連携認定こども園 桜井幼稚園 園長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: [www.ryoma.ac.jp/cmw](http://www.ryoma.ac.jp/cmw)

### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: [www.ryoma.ac.jp/cmw](http://www.ryoma.ac.jp/cmw)

授業科目等の概要

(医療専門課程看護学科) 平成 27 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			統計学	健康に関する情報の理解と看護研究に必要な統計学の基礎を理解する	2 通	30	1	○		
○			情報科学	パーソナルコンピューターの操作と情報の保護について理解し、学習活動や看護研究に活用できる	2 通	30	1		○	
○			国語表現	日常生活の中での言語感覚とことばに対する感受性を養い、言語技能が向上する	1 前	30	1	○		
○			教育学	教育学の基本的な知識と考え方を理解する	1 前	30	1	○		
○			日常英語	日常生活を英語で表現できるレベルの表現能力を習得すると共に国際感覚を身につける	1 通	45	2	○		
○			看護英語	医療・看護場面で、英語を用いてコミュニケーションがとれる能力を習得する	3 後	30	1	○		
○			心理学	人間の心理を科学的に探求することにより、人間についての理解を深める	1 通	45	2	○		
○			人間関係論	看護実践の基礎となる人間関係と援助的な関わりについて理解し活用できる	1 前	30	1	○		
○			家族社会学	人間生活の基盤としての家族のあり方と現代家族における課題について理解する	2 通	30	1	○		
○			レクリエーション	レクリエーションの意義と技法を理解し、様々な場面で活用できる	1 通	30	1	○	△	
○			人権の理解と行動	人権について理解し、人権を尊重した行動がとれるようになる	2 通	30	1	○	△	
○			解剖学	人体の構成・形態と構造を系統的に理解する	1 前	60	2	○		
○			生理学	人体の生理機能について理解する	1 通	60	2	○		
○			人体のしくみ	人体の構造と機能を統合して理解する	1 前	15	1	○		
○			栄養学	生体の成り立ちと栄養の基礎となる生化学及び人間にとっての栄養の意義と食事療法について理解する	1 前	30	1	○		
○			微生物学	微生物の特徴を理解し、引き起こされる疾患とその防御について理解する	1 前	30	1	○		

○		薬理学	薬理の特徴・作用機序・人体への影響及び薬物の管理について理解する	1通	30	1	○		
○		病理学	疾病および病的状態の本質を理解する	1通	30	1	○		
○		病態学Ⅰ	人体の消化に関連した疾患の成り立ちと回復の促進について理解する	1通	30	1	○		
○		病態学Ⅱ	人体の呼吸・循環に関連した疾患の成り立ちと回復の促進について理解する	1通	30	1	○		
○		病態学Ⅲ	人体の血液、免疫・アレルギー、内分泌、代謝に関連した疾患の成り立ちと回復の促進について理解する	1通	30	1	○		
○		病態学Ⅳ	人間の運動と脳神経に関連した疾患の成り立ちと回復の促進について理解する	1前	30	1	○		
○		病態学Ⅴ	排泄に関連した疾患の成り立ちと回復の促進について理解する	2通	15	1	○		
○		病態学Ⅵ	女性生殖器と感覚器に関連した疾患の成り立ちと回復の促進について理解する	2通	30	1	○		
○		社会福祉	社会福祉の基本概念と社会保障制度について理解する	2通	30	1	○		
○		公衆衛生学	公衆衛生の基本を理解し、法制度と保健活動について理解する	3通	45	2	○		
○		看護関係法規	看護に関連した法規について理解する	3後	15	1	○		
○		関係法規	医療に関連した法規について理解する	3前	15	1	○		
○		医療概論	現代医療の仕組みとその諸問題について理解する	3後	15	1	○		
○		看護学概論	看護の変遷と看護の基礎となる主要概念を理解すると共に看護の機能・役割を理解する	1前	30	1	○		
○		看護の基本技術	看護実践の基礎となる基本技術を習得する	1通	45	1	○	△	
○		日常生活援助技術	人間のニーズと生活行動を理解し、看護行為の基本となる日常生活援助の知識・技術・態度を習得する	1通	60	2	○	△	
○		診療補助技術	診断・治療過程にある対象の援助に必要な知識・技術・態度を習得する	2前	45	1	○	△	
○		フィジカルアセスメント	身体に関する情報を収集し、健康状態を正しく判断するために必要な知識・技術・態度を身につける	1通	30	1	○	△	
○		指導技術	看護実践における指導技術の基礎を習得する	2前	15	1	○	△	
○		看護過程	看護実践の基礎となる問題解決過程とその展開方法を理解する	1後	45	1	○	△	

○		看護倫理の基礎	看護における倫理の意義と基本を理解し、看護師としての態度を身につける	2 通	15	1	○		
○		臨床看護総論	障害・疾病をもつ対象を理解し、対象の状態に応じた看護について理解する	1 後	45	2	○		
○		基礎看護学実習 (環境と対象の理解)	病院における環境と患者について理解し、看護の役割を考えることができる	1 後	45	1			○
○		基礎看護学実習 (看護過程の基礎)	看護過程展開の基本を理解し、基礎的な看護技術が実践できる	1 後	90	2	○		○
○		成人看護学概論	成人期にある対象の特徴を理解し、看護の機能と視点を理解する	1 前	30	1	○		
○		成人看護援助論Ⅰ	急性期及び回復期にある対象の特徴と健康上の問題を理解し、必要な援助を提供できる知識・技術・態度を修得する	1 通	45	2	○		
○		成人看護援助論Ⅱ	慢性期にある対象の活動・休養・恒常性の維持に関する障害を理解し、その援助を修得する	1 後	45	2	○		
○		成人看護援助論Ⅲ	終末期にある対象の特徴と健康上の問題を理解し、必要な援助を提供できる知識・技術・態度を修得する	2 前	30	1	○	△	
○		老年看護学概論	老年期にある対象の加齢に伴う変化と高齢者を取り巻く社会について理解し、老年看護のあり方を理解する	1 通	30	1	○	△	
○		老年看護援助論	高齢者の生命・機能の維持およびQOLの視点から看護の必要性を判断し、看護が実践できるための知識を修得する	1 後	30	1	○	△	
○		老年看護の実際	健康障害をもつ高齢者への看護の展開と援助技術を修得する	2 前	45	2	○	△	
○		小児看護学概論	小児看護の本質を学ばせるとともに、正常な発達の理解とその援助について理解する	3 前	30	1	○		
○		小児看護援助論Ⅰ	小児期におこりやすい障害や疾患について理解する	3 前	30	1	○		
○		小児看護援助論Ⅱ	障害や疾病をもつ小児と家族の問題を理解し、健康のレベルに応じた看護について理解する	3 通	45	2	○		
○		母性看護学概論	母性各期の対象の特徴および人間の性と生殖の意義について理解する	2 前	30	1	○		
○		母性看護援助論 (正常編)	妊娠・分娩・産褥各期及び新生児の生理的変化と正常な経過を理解し、必要な援助および保健指導について理解する	2 後	30	1	○		
○		母性看護援助論 (異常編)	妊娠・分娩・産褥各期及び新生児に起こりやすい異常やそのリスクについて理解し、予防と異常時の看護について理解する。	3 前	15	1	○		

○		母性看護技術	妊娠・分娩・産褥、新生児各期の看護に必要な看護技術を習得する	3前	15	1	○	△	
○		精神看護学概論	精神の成り立ちとメカニズムを理解し、ライフサイクルにおける精神保健について理解する 精神保健医療の変遷と現状を踏まえ、精神障害を持つ対象の人権について理解する	2前	15	1	○		
○		精神看護援助論Ⅰ	精神疾患の病態と治療について理解し、精神障害を持つ対象と家族の生活を理解する	2通	30	1	○		
○		精神看護援助論Ⅱ	精神疾患を持つ対象と家族に対して必要な看護援助について理解し、看護過程の展開を修得する	2後	45	2	○		
○		成人看護学実習 (急性期・回復期)	急性期・回復期にある患者の特徴と治療・療養上の問題を総合的にとらえ、適切な看護を提供できる知識・技術・態度を修得する	2前	135	3			○
○		成人看護学実習 (慢性期・終末期)	慢性期・終末期にある患者の特徴と治療・療養上の問題を総合的にとらえ、適切な看護を提供できる知識・技術・態度を修得する	2前	135	3			○
○		老年看護学実習 (基礎)	老年期にある対象の特徴と健康上の問題を理解し、必要な援助を提供できる知識・技術・態度を習得する	2後	90	2			○
○		老年看護学実習 (総合)	老年期にある対象の特徴と健康上の問題を総合的に捉え、継続看護の視点で看護ができる	2後	90	2			○
○		小児看護学実習	小児の特徴を理解し、各健康レベルにある小児とその家族に看護が実践できる知識・技術・態度を修得する	3通	90	2			○
○		母性看護学実習	母性の特徴と母性看護の重要性を理解し、対象に応じた看護および保健指導の方法を修得する	3通	90	2			○
○		精神看護学実習	精神障害を持つ対象の特徴と健康上の問題を総合的に捉え、対象にとって必要な看護を提供できる知識・技術・態度を修得する	2後	90	2			○
○		在宅看護概論	在宅で療養している対象と家族の特徴を理解し、看護の目的と機能を理解する	2後	15	1	○		
○		在宅看護援助論	在宅療養者における生活支援の方法と疾病管理について理解し、在宅での看護展開を修得する	3前	45	2	○	△	
○		在宅看護技術	在宅で療養する人の日常生活の援助方法を理解し、在宅看護に必要な技術を習得する	3前	15	1	○	△	
○		看護研究	看護研究の基礎を理解し研究的姿勢を身につける	2後	30	1	○	△	
○		看護技術の実際	基礎看護学で学んだ技術を、臨床の場で活用できる実践力を身につける	3後	30	1	△	△	○

○		看護実践の探求	臨床の場における看護実践について深く思考し実践できる	3 後	30	1	○	△	
○		看護管理	看護管理の概念と実際を理解し、看護専門職としての現状の理解と今後のあり方を考えることができる	3 通	30	1	○		
○		災害看護	災害における看護の基礎知識と技術を修得する	3 後	15	1	○		△
○		在宅看護論実習	地域や施設で療養する人々やその家族を理解し、在宅における看護の機能と看護の実際について理解する	3 通	90	2			○
○		統合実習	専門職業人としての責任と役割を理解し、臨床実践に即した看護が実践できる	3 通	90	2			○
合 計			74 科目	3015 単位時間 ( 99 単位 )					